



太工通信

令和3年度 第13号

太工フェア



ものづくりの 楽しさ感じて

ゲームや機械製作紹介

太工フェア

太田

太田工業高（滝川豊宏校長）の生徒が課題研究や授業で制作したゲーム、ロボットを楽しんでもらうイベント「太工フェア」が27日、太田市のぐんまこどもの国児童会館で開かれた。

電子機械科、電気科、情報技術科の2、3年生計約20人が、制作したアームロ

ボットやストラックアウトマシンなどを子どもたちと楽しんだ。写真。ガラスコップに特殊な機械で模様を付けるコーナーでは、子どもたちが生徒に手助けしてもらいながら、模様を完成させた。

参加した石津凱之君(10)は「お兄さんが優しくアドバイスをしてくれた。難しかったけどとても面白かった」と笑顔だった。同高3年の相波元気さん(17)は「子どもたちの笑顔を見るとうれしくなった。ものづくりの楽しさを感じてもらえたら」と話していた。

別のブースでは、小学生10人が機械科の生徒によるボクシングロボットの製作を体験し、組み立てた後はトーナメント戦を楽しんだ。

(時田菜月)